

停電・反相・欠相警報器 S-5型・S型・SOR型



電気温床、養魚場、製氷工場、冷凍・冷蔵庫などの回路や、モータを主体とした回路などで、停電・反相・欠相などの事故が発生しますと、生育物や生産機器に大きな損害を生じます。昭和54年度内線規程改正は、これらの事故を防ぐために停電警報を行なう機能と自家発電設備の義務付をしました。

停電警報器、停電・反相・欠相警報器は、事故発生と同時に警報しますから、こうした損害の発生を未然に防ぎます。

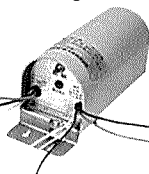
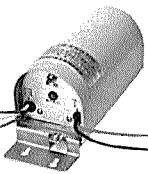
■特長

●高い信頼性

通信機器用の高精度電子部品を使い、それを完全に樹脂モールドしていますから、防じん、防湿、耐衝撃性にすぐれ故障の心配がありません。

●すぐれた遠隔性

電子ブザーを採用していますから、消費電流が少なく1 km位離して配線しても警報音は減衰しません。

S-5 	単相回路の負荷側で停電が発生した場合に警報を発します。 S-5型は、警報ブザー用電源を回路電源から取ります。
S 	単相回路で停電が発生した場合に警報を発します。 S型は、警報ブザー用電源として電池を内装しています。
SOR 	三相回路で停電・反相・欠相が発生した場合に警報を発します。 SOR型は、警報ブザー用電源として電池を内装しています。

(注) 遠隔地に警報を伝達する無線警報器については、別途ご相談ください。